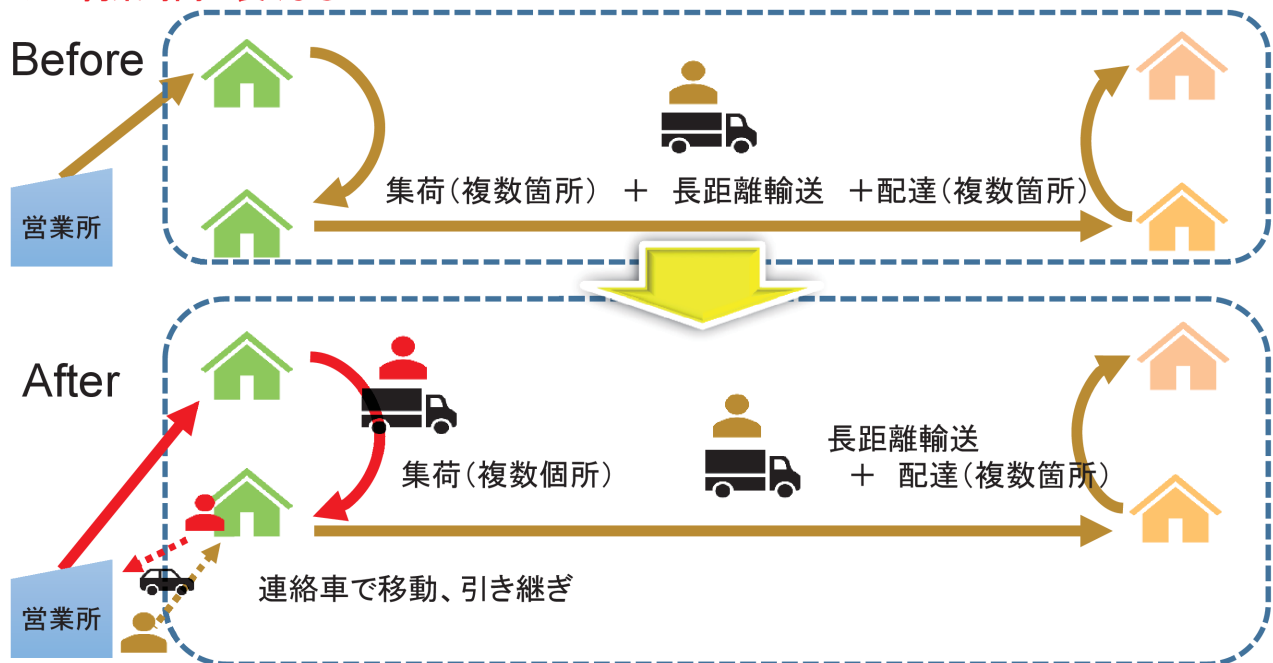


1. 実施者の概要

- 荷主企業 : 発荷主A(食品メーカー)
佐賀県に本社を置く食品加工業で、関西や首都圏を中心に冷凍食品や食肉類を提供している
- 運送事業者: 運送事業者ア
佐賀県に本社を置くトラック運送事業者。低温食品輸送の他、倉庫や物流システムの開発も行う
- 荷種 : 冷凍食品

2. 事業概要

- 1人のドライバーが複数箇所集荷の後、関西・関東方面等の長距離を運転し、複数箇所配達していたため拘束時間が長くなる



- 集荷担当と長距離幹線輸送・配達担当を分けることで、ドライバー1人あたりの拘束時間を大幅に短縮

| | | | | |
|-------|----|----|----|-------|
| 変化の一例 | 7H | 8H | 4H | 19H拘束 |
| | 集荷 | 輸送 | 配達 | |
| | 7H | 8H | 4H | 8H拘束 |
| | 集荷 | 輸送 | 配達 | 13H拘束 |
| | 1H | 1H | | |
| | 移動 | 移動 | | |

3. 課題

- 集荷も配達も複数個所で、さらに配達が午前中指定であるケースも多いため拘束時間が長かった。特に運行1日目の拘束時間は19時間を超えることもあった

4. 事業内容

- 対象となる運行便を下表のように設定。それぞれの便につき、集荷担当運転手、長距離運行運転手を別々に設定し、集荷終了後、車両を引き継いで長距離の運行を開始させた

| 集荷日 | 方面 | 集荷地 | 荷下地 | 荷下日 |
|-------|--------|---------|----------|-------|
| 1月10日 | 関東 | 佐賀県佐賀市 | 神奈川県中井町 | 1月12日 |
| | | 佐賀県伊万里市 | 神奈川県伊勢原市 | 1月12日 |
| 1月11日 | 関西 | 佐賀県伊万里市 | 大阪市港区 | 1月12日 |
| | | 佐賀県佐賀市 | | |
| 1月12日 | 関西経由関東 | 佐賀県伊万里市 | 大阪市此花区 | 1月13日 |
| | | 佐賀県佐賀市 | 大阪市港区 | 1月13日 |
| | | | 神奈川県川崎市 | 1月14日 |

5. 結果

- 幹線便(関東)の運転手の拘束時間は運行3日間合計で6時間減少した

| | Before | After | | 幹線便の 時間増減 (Aft - Bef) |
|-------|---------------------|----------|---------------|-----------------------------|
| | 関東便(作業分離なし) | 集荷便 | 幹線便 (配達終了) | |
| | 集荷・幹線便 (始業～配達終了) | 集荷便 | 幹線便 (配達終了) | |
| 始業時刻 | 10日 7:30 | 10日 7:30 | 10日 13:30 | — |
| 運転時間 | 19時間30分 | 3時間20分 | 16時間10分 | △3時間20分 |
| 荷役時間 | 4時間00分 | 3時間10分 | 50分 | △3時間10分 |
| 休憩時間 | 2時間30分 | 1時間00分 | 1時間30分 | △1時間00分 |
| その他時間 | 30分 | 2時間30分 | 2時間00分 | 1時間30分 |
| 拘束時間 | 26時間30分 | 10時間00分 | 20時間30分 | △6時間00分 |
| 休息期間 | 24時間00分 | | 24時間00分 | — |
| 合計 | 50時間30分 | 10時間00分 | 44時間30分 | △6時間00分 |

6. 荷主企業のメリット

- 出荷形態を変えることなく、安定した運行を確保できた

7. 結果に結びついたポイント／課題

- 実験にあたっては、引き継ぎを受ける長距離運行の運転手が自分の積んでいない荷物を間違えずに下ろすことができるか、という点が懸念されたが、これについては運送事業者Aがマニュアルを整備し、工夫をこらした帳票(車両引継用積み付け表、貼りつけ表など)を用意したことで解決した
- さらなる効果拡大に向けた課題として、①集荷専門の運転手の確保 ②2日目以降の時間短縮、③運行計画を厳しくする着荷主の時間指定等の解決 ④ドライバー2名体制となることによるコスト増への対応 など